

H30年度 スクールソーシャルワーク（SSW）研修会

1 趣旨

スクールソーシャルワーク事業に関連するソーシャルワーカーや教育・支援関係者が集い、スクールソーシャルワークについての知識と技能を高めるとともに、効果的な支援や連携についての相互理解を深め、実際の家庭や子どもへの充実した支援につなげていく。

2 主催 一般社団法人山口県社会福祉士会 山口県精神保健福祉士協会（共催）

3 後援 山口県教育委員会（申請中）

4 日時 2019年2月23日（土） 9：40～17：00

5 会場 山口県セミナーパーク（山口市秋穂二島 1062） 社会福祉研修室

6 参加対象 ※ 本研修は一般公開ではありません。受講後の守秘義務を遵守してください

(1) 県内でSSWとして既に活動しており、今後も活動を希望する者

1. 県社会福祉士会会員でSSWとして稼働される方は、すべてのプログラムに参加することが必要です。
2. やむを得ない事情で欠席される場合、欠席者用の課題レポートを提出し、合格することが必要です。

(2) 平成31年度から、県内でSSWとしての活動を希望する者

1. 県社会福祉士会からの推薦で稼働される方は、受講が必須です。
2. 県社会福祉士会から推薦されるには、受講後に実施するSSW委員会の面接と審査を経て合格することが必要です。 ※ 「受講＝推薦」ではありません。
3. 利益相反等の恐れがある場合は推薦できませんので、予めご了承ください。

（例）心理や教育・行政・施設・関係機関等で、子ども支援に携わる者

※ 詳細は、社会福祉士会事務局にお問い合わせください。

(3) 県社会福祉士会、県精神保健福祉士会会員で、SSWに関心のある者

(4) 県市町教育委員会

(5) 幼・保・小・中・高・大学等の教職員等

(6) スクールカウンセラー

(7) 子どもの福祉・医療・関係機関の従事者

(8) 県外のSSW、学校関係者

(9) その他、県社会福祉士会、県精神保健福祉士協会が認めた者

※ 県社会福祉士会事務局にお問い合わせの上、お申し込みください

7 定員50名：受講は、現任SSWと、SSWと連携する教育・福祉関係機関の従事者を優先します

※ 受講いただけない場合は、2019年2月7日（木）までにご連絡いたします

8 参加費 3,000円（会場費・資料代）

（県社会福祉士会「SSW委員会」会員と県精神保健福祉士協会会員は、両会より全額補助されます）

9 参加申込先・問い合わせ先：申込用紙に必要事項を記入の上、山口県社会福祉士会事務局へ
FAX：083-922-991 でお申し込みください 締め切り：2019年2月1日（金）

10 日程・内容・注意事項

- 午前・午後のプログラムは連動しています。終日参加をお願いいたします。
- 終日参加できない場合は、受け付けの際に申し出られて資料をお受け取りください。

| 時 間 | 内 容 | |
|---|---------------------------------------|--|
| 9:10~ | 受 付 | |
| 9:40~9:45 | 開会行事 〔全体司会 西村陽子：宇部市 SSW〕 | |
| 9:45~10:45 | 講 義 演 習 | 「自殺予防～子どもから「死にたい」と言われたらどうしますか～」(60分) 実際の事例を通じて、自殺念慮・未遂ケースへどのように関わるかを学ぶ 〔弦田八重子：県 SSW・SV〕 |
| 11:00~12:10 (12:00~質疑応答) | 講 演 | 「我社の経営理念と社会貢献」横岡撰樹先生(70分) 自動車販売・修理会社である株式会社 TAMARU 代表取締役。「こどもの未来応援企業」として「こども明日花プロジェクト」と連携。震災復興支援や途上国支援にも精力的に取り組む。アドラー心理学に基づいた人材育成や活動を展開。他者貢献・福祉・幸福などについて考える。 |
| 12:10~13:30 食事休憩 ランチョンセミナーを 開催するので、受講さ れない方は、ロビーや 食堂でご歓談ください | ラン チ ョ ン セ ミ ナ ー | 私 語 は お 控 え く だ さ い |
| | | 【12:20~12:45】解説とポイント(25分) 文科省「児童生徒との教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～」 〔中村あゆみ 柳井、周防大島、田布施、光市SSW〕 |
| | | 【12:50~13:15】講義(25分) 「組織・チーム内のコンセンサス(合意形成)について」 〔岩金俊充：県SSW・SV〕 |
| 13:30~14:00 (質疑応答13:50) | 実 践 発 表 | 「貧困・ネグレクトを抱え、支援機関に拒否・攻撃的な世帯への支援」(30分) 家庭訪問や面談さえ難しい支援困難世帯に対して、こどもの最善の利益のために関わり続け、好転させた SSW の活動を紹介 〔市町 SSW：就任2年目〕 |
| 14:05~15:15 グループ演習 | 講 義 演 習 | 「学校や関係機関への支援の伝え方」(70分) 「長々とまとまりのない発言」「主語やポイントのわからない報告書」にならないための、ポイントを押さえた簡潔な表現方法を学ぶ 〔中村幸一郎：県 SSW・SV〕 |
| 15:30~16:40 (16:40~質疑応答) | 講 演 | 子どもの支援について：近藤栄一先生(70分) 平成28年度の研修では、非行少年へ声をかけ、家で食事させ、頼まれれば学校にでも家庭にでも出向くアグレッシブ・ケースワークを紹介。 その後の「こども食堂ジョイアスキッチン」や里親としての活動も織り交ぜながら、子ども支援とは何かを考える。 〔こども食堂・里親・すこやかホーム・天理教廣闊分教会布教師〕 |
| 16:50~17:00 | 閉会式・諸連絡 | |
| | アンケート記入 | |

【自然災害による中止】自然災害発生等、その他研修を開催するにあたって支障をきたす事案が発生した場合、やむを得ず研修会を中止する場合がございますので、予めご了承ください。研修会が中止になった場合は、本会ホームページのトップページでお知らせしますので、各自、受講前に必ず確認するようお

願いたします。

(本会HP：<http://yamaguchicsw.com/>)